

第6回青谷地域振興会議議事概要

日時：令和元年11月26日（火） 午後3時00分～5時30分

会場：青谷町総合支所 多目的ホール

【出席委員】

高橋克己、長谷川英二、前田孝行、平尾繁幸、久野浩太郎、奥谷吉男、
長谷川和郎、瀨江和恵、塩とみ子、大石剛史 以上10名（敬称略）

【事務局】

山本支所長、安達副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局青谷町分室長）、
高野市民福祉課長、關木産業建設課長、山口地域振興課課長補佐

【日 程】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 青谷高校生徒発表 「発見！青谷町と赤間関廻船ルート」
- 4 議 題
 - (1) 青谷町と日本遺産北前船について
(ブレインストーミング方式でグループに分かれて意見交換)
 - 諸寄視察及び青谷高生徒の発表の感想
 - 日本遺産北前船の活用について
 - (2) 鳥取市公共交通施策関係
鳥取市生活交通創生ビジョン策定に向けた意見交換会等について
- 5 その他
- 6 閉 会

《議事概要》

◎青谷高校生徒 「発見！青谷町と赤間関廻船ルート」

地域に根差した課題探究に取り組んでいる青谷高等学校3年生が北前船をテーマに、
鳥取藩政資料「家老日記」や青谷町誌などの文献を参考に調査研究した成果を発表。

【委 員】3年生が発表されたけれど、引き継いでくれる人はいるのか。

【青高生徒】2年生も「あおや学」を学んでいるので、引き継いでくれたらと思います。

【委 員】いろいろな文献を調べられたと思うが、青谷町内で調べた文書はあるか。

【青高生徒】青谷町内の文書までは調べていません。

◎議題

- (1) 青谷町と日本遺産北前船について

●諸寄視察及び青谷高校生徒の発表の感想について

▶諸寄視察の感想

- ・北前船に対するひたむきな姿、携わる人の思いや愛情が凄くて、周りの人も動かしていると感じた。
- ・諸寄には「核」になる人がいると感じた。人材の発掘が必要。
- ・諸寄は地域が独立して運営していた。行政に頼らない自立した組織が必要。
- ・諸寄にはたくさんの資料があった。青谷町はどこにどんな資料があるがわからない。資料を保存させてもらうような動き（取組）が必要ではないか。

▶青谷高校生徒の発表の感想

- ・何かをきっかけに「深く知りたい」「調べよう」とする意欲を持ち行動する姿が素晴らしいと思った。
- ・発表手段としての紙芝居も良かった。
- ・今後に引き継いでほしい。

●日本遺産北前船の活用について

▶活用が出来るかどうかの視点から

- ・地元の人々の参画が無いといけない。
- ・北前船より青谷上寺地遺跡を早く何とかしなければいけないのではないか。
- ・他の港と比べると青谷は小さいけれど、まずは活用を検討してはどうか。
- ・ジオパークの指定と併せて出来るだけ資料を集めてみる。
- ・まちおこしに使えるなくても残してみる価値はある。
- ・北前船や青谷上寺地遺跡などそれぞれの名勝を含めたウォーキングコースを作って、青谷町民がこぞって参加してみんなが青谷を知り、青谷っていいなと言い合える青谷町を作ってはどうか。

▶出された活用案

- ・青谷の事を知って、青谷の人が誇りを持つために、様々な機会をとらえて北前船の話をしていく。
- ・ガイドの養成やマップの作成。
- ・北前船を造って出航してみよう。
- ・海産物を商品化して給食にだす。
- ・廻船問屋には屋号がついているので、屋号を作り和紙灯籠を飾るなど雰囲気をつくる。
- ・八軒屋通りの整備や、現存する当時の姿を（石垣や蔵）を残して行く。
- ・青谷高校が北前船に関連した取組をしている他の高校と連携してはどうか。

【会長】本日の会は、北前船についての結論や方向性を出すものではありませんので、今後時間を取って議論を進めさせていただきます。

(2) 鳥取市公共交通施策関係

鳥取市生活交通創生ビジョン策定に向けた意見交換会等について

- 【委員】50歳以上で車の免許のない人等の生の声を聴きたいので、バスがなくなったらどうしますかというようなアンケートを取り、意見を出してもらったらどうか。
- 【事務局】過去に何度かアンケートを取り「バスが無くなる困るのでバスを利用します」と回答をもらっていますが、実際にはバス利用にはつながっていない経過もあり、苦慮している状況です。
- 【委員】現状では財政支援をしても運転手がいないからバス路線廃止の問題が出てきていると思う。5年先10年先、人口減少や高齢化を見据えた公共交通の対策が必要。利用促進について議論しても路線バスを維持することは難しいと思うので路線バス以外の手段は何があるのか考えたらどうか。道路運送法がネックになるかと思うので現状をクリアする方法を考えることが必要で、お互いが助け合えるような環境の整備をしていくことが大切だと思う。
- 【事務局】路線バスが無くなった場合の代替え手段の検討と路線バス利用促進について並行して進めていきたいと思っています。
- 【委員】公共交通が無くなり困るのは、通院と通学だと思う。通学のためのバス運行は小学校統合時の約束でもあるので維持していただきたい。公共交通の現状について説明会を早く開いて地域に知らせることが必要。
- 【委員】行政から補助金がたくさん出ている。乗客を乗せないで走るのは無駄遣いだと思う。
- 【委員】全国でほとんどの市町村の切実な悩みだと思う。いろいろな情報を提供していただきその中で一番青谷に合うものを検討していきたい。
- 【会長】地域振興会議は決定機関ではありませんが、青谷町民の事を考えて頑張っている会です。行政からいろいろな情報を提供していただき協議をしていきたいと思っています。

◎その他

- 【委員】支所だよりで地域振興会議について掲載してあるが、反響等はあるのか
- 【事務局】感想等は聞いています。
- 【委員】青谷上寺地遺跡史跡整備についてはどうなっているのか。地域振興会議内で進捗情報を提供して欲しい。
- 【事務局】現在県において民間手法を活用して公共施設等の設計・建設・維持管理・運営を行う方式の導入をしてはどうかという検討をしている段階で、整備の着工が遅れています。引き続き進捗情報を提供していきたいと思っています。